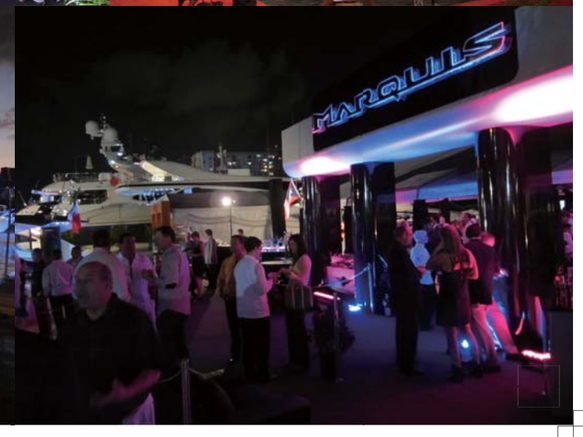
# Miami International BOAT SHOW

## 2011.February.17thu-21mon.5days

Photo&Text/YOSHINARI FURUYA
SAIL &POWER
〒901-2223
沖縄県宜野湾市大山7-11-7-709 http://www.sailandpower.jp/
TEL&FAX:098−890−2025/Mobile:090−5871−3840 E-mail:furuya@sailandpower.jp

マイアミボートショー速報!!

アメリカ最南端のフロリダ州。その最南端のマイアミ市で2月17日(木)から21日(月)の5日間ボートショーが開催された。その速報を現地からレポートする。まずは、MIAMI INTERNATIONAL BOAT SHOWのメイン会場であるコンベンションセンターを訪れる。コンベンションセンターにはシーレイ、ベイライナー等のエクスプレスクルーザーをはじめ、カロライナスキフ、コンテンダー等のセンターコンソーラーやアメリカンなパワーボートなど、比較的小型(と言っても50フィートクラスまであるが)のボートビルダーがボートを展示している。それ以外にも、屋外展示をするボートや屋外テント内の用品コーナー、2階のフィッシング&用品コーナー等、艤装品や電装品、フィッシングツール等のメーカーや販売店が数百社集まっている。この会場だけでも日本のボートショーの何倍もの規模がある。ひときわ目を惹く存在だったのは、557馬力を誇る新型の船外機だ。350馬力が最大馬力だった船外機大手に殴り込みをかけてきたのはヤマハやスズキ、ホンダやマーキュリー、エビンルードではない。7マリンという新興の船外機メーカーだ。イントレピッドに取りつけられたビッグ船外機に人だかりができ、会場一のニュースとなっていた。次に訪れたのはマイアミビーチから離れたマイアミ市内のシーアイルマリーナだ。そこはフローティング展示や試乗会の会場となっている。日本では見ることもできないパワーボートやセンターコンソーラー、カタマランボートや最新のパワーユニットが実際に試乗できる。特にセンターコンソーラーは多くのモデルを乗り比べできるので各ビルダーの特徴の違いが良くわかるシーアイルでは一番の話題艇に乗ることができた。ボストンホエラーのジャスティス370だ。ポリスやコーストガードの為に艤装された、マシンガンを固定するガンホルダーまで付いたボート。日本では絶対に乗ることのできない特殊なボートまで試乗できるはマイアミならではだ。また、シーアイルからも近いベイサイドのミアマリーナはセールボートの展示会場となっている。小型からメガヨット、セールボートまで全てのカスタマーに応えている。そして、極めつけは、マイアミビーチにあるコリンズアベニューで同時開催されているTHE YACHT & BROKERAGE SHOWだ。ハトラス、バートラム、バイキング、リーバ、フェレッティー、ラザーラ…のメジャービルダーを中心にカスタムヨットやメガヨットまでの40〜200フィートクラスの新艇や中古艇が運河一杯に展示されている。ハトラスのGTシリーズやバートラム540等ビッグビルダーのニューモデルラッシュに会場も盛り上がる。そして、各ブースで世界のディーラーやVIPを招待したパーティーが毎夜行われ、アメリカらしい演出とマイアミの風がカスタマーをその気にさせる。これら4会場に分かれた全てを合わせると、ボート数3000隻以上、出展会社2000社以上もある。名実ともに世界最大を誇るマイアミボートショー。ボート好きには夢のような5日間だ。

# Miami International BOAT SHOW